

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	くろほね夏まつり会場電気配線購入事業	桐生市	1,339,200	1,300,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称													
1	地域活性化措置	くろほね夏まつり会場電気配線購入事業													
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		桐生市													
交付金事業実施場所		桐生市黒保根町水沼地内													
交付金事業の概要		くろほね夏まつり用電気配線設備の整備													
総事業費	1,339,200	交付金充当額	1,300,000												
		うち文部科学省分													
		うち経済産業省分	1,300,000												
交付金事業の成果目標		<p>「くろほね夏まつり」は、当地域最大のイベントであり、地域住民が中心となり、ふれあいの場や伝統芸能(八木節)の伝承の場となっている。</p> <p>現在、まつりに使用している電気配線設備は、20年以上前から使用しているものであり、経年劣化による断線や漏電等が発生している。</p> <p>このため、設備の更新を行い、地域の伝統文化を継続し地域振興を図ることとする。</p>													
交付金事業の成果指標		伝統文化を継続するため、老朽化した電気設備の更新を行い、前年度水準の夏まつりへの来場者及び参加者数の維持を目標とする。													
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により、くろほね夏まつりに使用する電気配線設備(一式)を更新した。</p> <p>電気設備を更新したことにより、本年度の「くろほね夏まつり」では、電気トラブルも発生せず、順調に開催することができた。電灯関係(提灯、投光器等)を含め、設備が充実したため、祭りへ300人(16団体)の参加があり、来場者数も前年3,000人を超える3,200人となった。</p> <p>来場者からは、「壮大な檜上での八木節、お囃子が良かった。」といった意見も寄せられ、今後も永続的な開催が可能となり、地域の伝統文化の継続と地域振興を図ることができた。</p>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>契約の目的</th> <th>契約の方法等</th> <th>契約の相手方</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物品購入</td> <td>指名競争入札</td> <td>桑原電気工事株式会社</td> <td>1,339,200</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>1,339,200</td> </tr> </tbody> </table>				契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額	物品購入	指名競争入札	桑原電気工事株式会社	1,339,200	計			1,339,200
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額												
物品購入	指名競争入札	桑原電気工事株式会社	1,339,200												
計			1,339,200												
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度												
			該当無し												

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載